

# L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 2<sub>ε</sub> で定理などを枠を囲む方法

桂田 祐史

2005 年 8 月 17 日

## 1 はじめに

定理などを書くとき、普通は `newtheorem` で新しい環境を定義するが、英文で使っている場合は通常とは別の字体を使って、定理と地の文章を区別するが、日本語の文章の場合は (フォントが限られているためか) 定理と地の文章を字体で区別することはできず、どこまでが定理でどこからが地の文章か、紛らわしいことはなほだしい。という理由で定理などを枠で囲みたい、と考えるのは自然な感情だと思う。

以下に書いてあることは個々の事実はネットで拾ったものが多いが、

<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/sensei/kumazawa/tex/framed.html>

は出色でぜひ一度アクセスしてみることを勧める。

## 2 ascmac はいかが？

文章などを枠で囲むためには、`ascmac.sty` という便利なパッケージがある (元々は ASCII 日本語 T<sub>E</sub>X に付属してくるものであった)。この中で、以下の 3 つの環境が定義されている。

1. `screen` 環境。例えば

```
\begin{screen}
  なんとか
\end{screen}
```

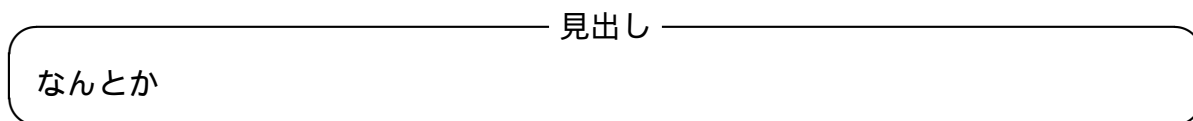
とすると、次のようになる。

なんとか

2. `itembox` 環境。例えば

```
\begin{itembox}{見出し}
  なんとか
\end{itembox}
```

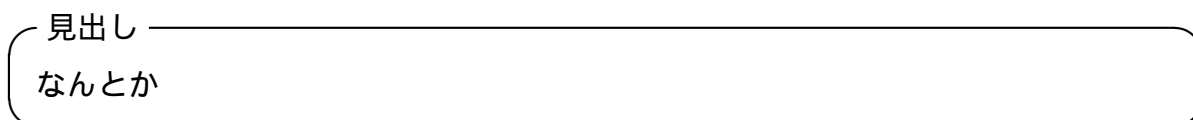
とすると、



となる。見出しを左によせたければ、

```
\begin{itembox}[1]{見出し}
  なんとか
\end{itembox}
```

とすればよい。その結果は次のようになる。



### 3. shadebox 環境。例えば

```
\begin{shadebox}
  なんとか
\end{shadebox}
```



## 3 ascmac で困ること — ページをまたげない — の克服

前節で紹介した ascmac は手軽に使えて非常に便利であるが、一つ困ったのは、そこで定義してある三つの環境はどれもページをまたがって使うことは出来ない、ということである。これは実現方法に由来するもので (minipage 環境を利用して) 簡単には修正できない。

### 3.1 対応策 (1) eclbkbbox の breakbox 環境

NTT jT<sub>E</sub>X で名をはせた磯崎秀樹氏は色々なパッケージ (スタイル・ファイル) を作成して発表したが (L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X に EPS データを取り込む eclpsf.sty が特に有名である)、その中に eclbkbbox.sty がある (1992 年 10 月 27 日, 30 日のネットニュース (fj.comp.texhax グループ) への投稿)。

それで定義された breakbox 環境を用いると、環境の中に描かれたものを (角が四角い) 枠で囲ってくれる。また途中でページをまたぐことができる。

```
\begin{breakbox}
  もしもし。\\
  かめよ。\\
  かめさんよ。
\end{breakbox}
```

もしもし。  
かめよ。  
かめさんよ。

eclbkbox.sty は案外入手するのが難しい。これを改訂した boites.sty (by Vincent Zoonekynd) は基本的に上位互換性を持ち、CTAN (macros/latex/contrib/boites/) にも置かれていて入手が容易なので、breakbox 環境が使いたければ boites.sty を入手するのがお奨めである。

## 3.2 framed.sty の shaded 環境を用いる

framed.sty は CTAN (macros/latex/contrib/misc/framed.sty<sup>1</sup>) から入手できるが、(1) framed 環境, (2) shaded 環境が利用可能である。

### 3.2.1 framed 環境

framed 環境は、その環境内に書かれたものに枠をつける。ページの切目にくると適当なところで切って改ページして、どちらもきちんと枠で囲む。

```
\begin{framed}
  影がついてるか？
\end{framed}
```

のようにすると、

影がついてるか？

### 3.2.2 shaded 環境

shaded 環境は、その環境内に書かれたものに影をつける。

```
\definecolor{shadecolor}{gray}{0.80}
```

のように準備しておいて、

```
\begin{shaded}
  影がついてるか？
\end{shaded}
```

のようにすると、

影がついてるか？

<sup>1</sup>例えば、ftp://ftp.ring.gr.jp/pub/text/CTAN/macros/latex/contrib/misc/ においてある。